

運用報告書（全体版）

追加型投信／内外／債券

グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）

作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日

第78期（決算日 2014年7月22日） 第81期（決算日 2014年10月22日）
第79期（決算日 2014年8月22日） 第82期（決算日 2014年11月25日）
第80期（決算日 2014年9月22日） 第83期（決算日 2014年12月22日）

＜受益者のみなさまへ＞

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）」は、2014年12月22日に第83期の決算を行いましたので、第78期から第83期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2018年1月22日まで（2008年1月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、先進国と新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	先進国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券、新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	・先進国と新興国の債券に当ファンドの純資産総額の50%程度ずつ投資し、それぞれの割合が一定の範囲となるよう調整します。 ・「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」の運用指図権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。	
主な投資制限	当ファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
	先進国高金利通貨オープン マザーファンド	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	新興国高金利通貨オープン マザーファンド	・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

本報告書に関するお問い合わせ先は、以下の通りです。

コールセンター

フリーダイヤル **0120-759311**

受付時間は営業日の午前9時～午後5時

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
ホームページ <http://www.kokusai-am.co.jp>

・本報告書において、作成対象期間を当作成期という場合があります。

■ 最近 5 作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 金 期 騰 落 中 率			債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 額 総	
			分	込	金				期
第10 作成期	54期 (2012年7月23日)	円 5,568		円 25		% △1.6	% 96.3	% -	百万円 6,743
	55期 (2012年8月22日)	5,758		25		3.9	95.2	-	6,779
	56期 (2012年9月24日)	5,722		25		△0.2	95.3	-	6,584
	57期 (2012年10月22日)	5,772		25		1.3	95.3	-	6,473
	58期 (2012年11月22日)	5,909		25		2.8	95.4	-	6,488
	59期 (2012年12月25日)	6,129		25		4.1	94.6	-	6,505
第11 作成期	60期 (2013年1月22日)	6,485		25		6.2	95.2	-	6,789
	61期 (2013年2月22日)	6,689		25		3.5	95.1	-	6,839
	62期 (2013年3月22日)	6,678		25		0.2	95.6	-	6,719
	63期 (2013年4月22日)	7,038		25		5.8	95.4	-	6,964
	64期 (2013年5月22日)	7,135		25		1.7	96.1	-	6,938
	65期 (2013年6月24日)	6,506		25		△8.5	95.9	-	6,248
第12 作成期	66期 (2013年7月22日)	6,707		25		3.5	96.2	-	6,359
	67期 (2013年8月22日)	6,376		25		△4.6	95.6	-	5,971
	68期 (2013年9月24日)	6,700		25		5.5	95.2	-	6,188
	69期 (2013年10月22日)	6,694		25		0.3	95.9	-	6,113
	70期 (2013年11月22日)	6,715		25		0.7	95.7	-	6,035
	71期 (2013年12月24日)	6,848		25		2.4	95.4	-	5,915
第13 作成期	72期 (2014年1月22日)	6,730		25		△1.4	94.8	-	5,777
	73期 (2014年2月24日)	6,596		25		△1.6	94.7	-	5,601
	74期 (2014年3月24日)	6,568		25		△0.0	94.1	-	5,529
	75期 (2014年4月22日)	6,747		25		3.1	95.9	-	5,584
	76期 (2014年5月22日)	6,725		25		0.0	95.7	-	5,498
	77期 (2014年6月23日)	6,741		25		0.6	96.1	-	5,432
第14 作成期	78期 (2014年7月22日)	6,694		25		△0.3	96.0	-	5,304
	79期 (2014年8月22日)	6,754		25		1.3	96.0	-	5,318
	80期 (2014年9月22日)	6,872		25		2.1	95.7	-	5,342
	81期 (2014年10月22日)	6,599		25		△3.6	86.1	-	5,054
	82期 (2014年11月25日)	7,100		25		8.0	93.5	-	4,613
	83期 (2014年12月22日)	6,782		25		△4.1	91.7	-	4,306

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当作成期の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
第78期	(期 首) 2014年6月23日	円 6,741	% —	% 96.1	% —
	6月末	6,757	0.2	96.5	—
	(期 末) 2014年7月22日	6,719	△0.3	96.0	—
第79期	(期 首) 2014年7月22日	6,694	—	96.0	—
	7月末	6,727	0.5	95.7	—
	(期 末) 2014年8月22日	6,779	1.3	96.0	—
第80期	(期 首) 2014年8月22日	6,754	—	96.0	—
	8月末	6,750	△0.1	96.0	—
	(期 末) 2014年9月22日	6,897	2.1	95.7	—
第81期	(期 首) 2014年9月22日	6,872	—	95.7	—
	9月末	6,761	△1.6	95.6	—
	(期 末) 2014年10月22日	6,624	△3.6	86.1	—
第82期	(期 首) 2014年10月22日	6,599	—	86.1	—
	10月末	6,759	2.4	95.9	—
	(期 末) 2014年11月25日	7,125	8.0	93.5	—
第83期	(期 首) 2014年11月25日	7,100	—	93.5	—
	11月末	7,038	△0.9	93.6	—
	(期 末) 2014年12月22日	6,807	△4.1	91.7	—

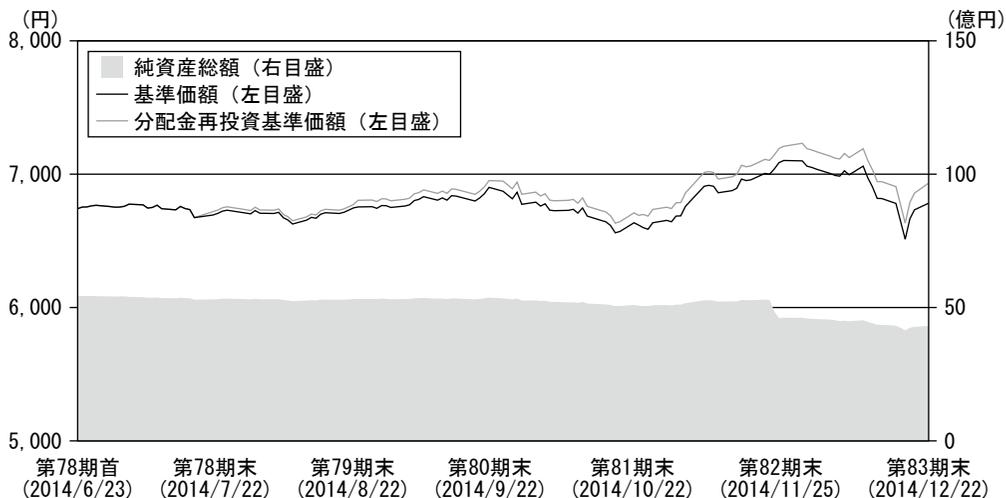
(注1) 各期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れていますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額等の推移について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）



当ファンドの作成対象期間中の騰落率はプラス2.8%となりました。

第78期首：6,741円
 第83期末：6,782円（既払分配金150円（税込み））
 騰落率：+2.8%（分配金再投資ベース）

（注）騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額は、第78期首の基準価額の値と等しくして指数化したものです。

■ 基準価額の主な変動要因（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

投資対象である2つのマザーファンドに、それぞれ純資産総額に対して2分の1程度ずつ投資し、各投資割合が一定の範囲内となるよう調整を行った結果、オーストラリアやトルコなどの金利低下による債券価格の上昇やニュージーランド・ドルやトルコ・リラなどが円に対して上昇したことが寄与し、基準価額は上昇しました。

組入マザーファンドの基準価額の騰落率

組入マザーファンド	騰落率
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	5.1%
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	1.7%

投資環境について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）**＞先進国債券市場の動向：**

作成対象期間の先進国債券市場では、投資対象国の金利はおおむね低下基調となりました。

- 先進国債券市場は、米連邦準備理事会（FRB）による量的金融緩和の終了が決定され、米国を中心に景気は比較的底堅く推移しているものの、主要な先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続していることや、資源価格の下落などを背景にインフレ期待が低下していることなどから、多くの先進国で金利は低下基調となっています。ノルウェーでは、原油価格の下落を背景に中央銀行が利下げに踏み切ったことなどから金利は低下しました。

＞新興国債券市場の動向：

作成対象期間の新興国債券市場では、トルコを除き、投資対象国の金利は上昇しました。

- 新興国債券市場では、ロシアは、依然として不透明なウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安の進行などを受けて売り圧力が強まったことや同国の中央銀行による大幅な利上げなどを受けて金利が上昇しました。ナイジェリアは、産油国であることから原油安による懸念や同国の中央銀行による利上げなどを背景に金利が上昇しました。ブラジルは、大統領選挙の動向に左右されて値動きの荒い展開となり、作成対象期間を通してみると金利は上昇しました。南アフリカは、金利が低下する局面があったものの、作成対象期間を通してみると小幅に金利は上昇しました。一方、トルコは、原油の輸入国であることから、原油安によるインフレ率の改善期待などを背景に金利が低下しました。

＞先進国為替市場の動向：

作成対象期間の先進国為替市場では、多くの先進国通貨が円に対しておおむね堅調となりました。

- 多くの先進国通貨は、市場参加者のリスク許容度の改善が進んだことや日銀による追加の金融緩和策が行われたことなどから、円に対しておおむね堅調に推移しました。一方、ノルウェー・クローネは、原油価格の急落などを受けて、円に対して軟調に推移しました。

＞新興国為替市場の動向：

作成対象期間の新興国為替市場では、投資対象通貨によってまちまちとなりました。

- ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢や原油安、欧米による制裁などを受けて円に対して大幅に下落しました。ブラジル・レアルは、大統領選挙でルセフ大統領が再選したことなどが嫌気され、対円で下落しました。一方、ナイジェリア・ナイラや南アフリカ・ランドは、米ドルが対円で堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。トルコ・リラは、原油安の進行を背景とした経常収支の改善期待などから対円で上昇しました。

ポートフォリオについて（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

➤グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 当ファンドは、先進国高金利通貨オープン マザーファンドおよび新興国高金利通貨オープン マザーファンドの各受益証券を通じて、あらかじめ定めた先進国および新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した先進国5通貨、新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券におおむね均等に投資を行いました。

➤先進国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別配分については、第78期首は、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、ユーロ（イタリア）の現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成となりました。第83期末は、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、イギリスの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	20.0%	0.8	3.6%	AAA
オーストラリア・ドル	19.8%	0.3	2.5%	AAA
ノルウェー・クローネ	18.5%	0.9	1.3%	AAA
カナダ・ドル	20.5%	2.2	1.1%	AAA
ユーロ（イタリア）	19.9%	2.9	1.0%	BBB
その他	1.2%	—	—	—
合計	100.0%	1.4	1.9%	AA+

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	19.4%	0.3	3.6%	AAA
オーストラリア・ドル	19.1%	2.2	2.3%	AAA
ノルウェー・クローネ	19.8%	0.4	1.1%	AAA
カナダ・ドル	19.6%	1.7	1.0%	AAA
イギリス・ポンド	19.7%	1.7	0.5%	AAA
その他	2.4%	—	—	—
合計	100.0%	1.2	1.6%	AAA

※後記の「注記」をご参照ください。

➤新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別配分については、第78期首は、ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成としました。2014年9月、12月に実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、金利の相対的な魅力度に大きな変化がなく、投資国通貨に変更を加えませんでした。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ナイジェリア・ナイラ	20.5%	0.8	11.4%	BB-
ブラジル・レアル	19.6%	0.8	10.9%	BBB+
トルコ・リラ	18.8%	0.4	8.6%	BBB
ロシア・ルーブル	19.6%	1.3	8.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	19.8%	0.9	6.4%	BBB+
その他	1.7%	—	—	—
合計	100.0%	0.8	8.9%	BBB-

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ロシア・ルーブル	16.3%	0.9	15.8%	BBB
ナイジェリア・ナイラ	20.4%	0.3	13.2%	BB-
ブラジル・レアル	21.7%	0.3	12.2%	BBB+
トルコ・リラ	19.1%	0.9	8.6%	BBB
南アフリカ・ランド	13.6%	1.9	6.8%	BBB+
その他	8.9%	—	—	—
合計	100.0%	0.7	10.5%	BBB-

※後記の「注記」をご参照ください。

■ 分配金について

分配については、基準価額水準・市況動向等を勘案して、第78期から第83期の1万口当たり分配金（税込み）はそれぞれ25円とさせていただきます。なお、分配金に充てなかった留保益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

■ 今後の運用方針

➤ グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 原則として、ファンドの純資産総額に対して先進国高金利通貨オープン マザーファンド、新興国高金利通貨オープン マザーファンドへ2分の1程度ずつの投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。

➤ 先進国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別資産配分
原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないこともあります。）。
- 残存期間
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

➤ 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 国別資産配分
原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないこともあります。）。
- 残存期間
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第78期～第83期 (2014/6/24～2014/12/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	33	0.485	(a) 信託報酬＝作成対象期間の平均基準価額× 信託報酬率× $\frac{\text{作成対象期間の日数}}{\text{年間日数}}$ 作成対象期間の平均基準価額は6,798円 です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.236)	・ 当ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.233)	・ 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	・ 当ファンドの財産の保管および管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.059	(b) その他費用＝ $\frac{\text{作成対象期間のその他費用}}{\text{作成対象期間の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(4)	(0.057)	・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	・ 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用等
合 計	37	0.544	

(注1) 作成対象期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は作成対象期間末の税率を採用しています。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成対象期間の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注6) 単位未満は0と表示しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	224,344	238,868	873,459	949,093
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	245,055	291,199	732,670	884,166

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人[※]との取引状況等（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

（1）利害関係人との取引状況

① 先進国高金利通貨オープン マザーファンド

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D
公 社 債	1,028	—	—	1,199	—	—
為 替 直 物 取 引	513	—	—	1,241	596	48.0

平均保有割合 99.1%

（平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。）

② 新興国高金利通貨オープン マザーファンド

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D
公 社 債	549	—	—	565	—	—
為 替 直 物 取 引	812	—	—	1,408	—	—

平均保有割合 98.3%

（平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子投資信託の親投資信託所有口数の割合です。）

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 78 期 ~ 第 83 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	一千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	一千円
(B) / (A)	-%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

該当ありません。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

種 類	第 13 作 成 期 末	第 14 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	2,561,535	1,912,420	2,103,471
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	2,291,865	1,804,250	2,147,960

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
先進国高金利通貨オープン マザーファンド	千円 2,103,471	% 48.5
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	2,147,960	49.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	85,759	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	4,337,190	100.0

- (注1) 先進国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,077,286千円)の投資信託財産総額(2,127,386千円)に対する比率は97.6%です。
- (注2) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,174,667千円)の投資信託財産総額(2,218,343千円)に対する比率は98.0%です。
- (注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.50円、1カナダ・ドル=102.99円、1ブラジル・レアル=44.90円、1イギリス・ポンド=186.72円、1ノルウェー・クローネ=16.16円、1トルコ・リラ=51.61円、1ロシア・ルーブル=2.05円、1オーストラリア・ドル=97.28円、1ニュージーランド・ドル=92.22円、1南アフリカ・ランド=10.33円、100ナイジェリア・ナイラ=66.37円です。
- (注4) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月22日) (2014年8月22日) (2014年9月22日) (2014年10月22日) (2014年11月25日) (2014年12月22日)現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	5,341,497,434	5,348,511,347	5,385,927,311	5,100,938,172	4,906,738,104	4,337,190,403
コール・ローン等	98,245,123	94,704,915	93,305,811	98,226,231	348,850,811	53,905,451
先進国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	2,610,107,210	2,624,573,780	2,632,748,903	2,496,459,785	2,266,261,130	2,103,471,432
新興国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	2,625,533,388	2,625,826,774	2,640,955,661	2,492,320,521	2,288,144,101	2,147,960,709
未 収 入 金	7,611,600	3,405,759	18,916,826	13,931,541	3,481,704	31,852,748
未 収 利 息	113	119	110	94	358	63
(B) 負 債	37,493,950	29,580,838	43,378,826	46,498,640	293,479,292	30,590,006
未払収益分配金	19,807,809	19,687,700	19,435,187	19,147,273	16,243,776	15,876,050
未 払 解 約 金	13,513,406	5,501,113	19,521,329	23,187,614	272,603,299	11,516,526
未 払 信 託 報 酬	4,154,280	4,372,602	4,402,754	4,145,338	4,611,733	3,183,291
その他未払費用	18,455	19,423	19,556	18,415	20,484	14,139
(C) 純資産総額(A-B)	5,304,003,484	5,318,930,509	5,342,548,485	5,054,439,532	4,613,258,812	4,306,600,397
次 本	7,923,123,727	7,875,080,012	7,774,075,032	7,658,909,265	6,497,510,436	6,350,420,251
次期繰越損益金	△2,619,120,243	△2,556,149,503	△2,431,526,547	△2,604,469,733	△1,884,251,624	△2,043,819,854
(D) 受益権総口数	7,923,123,727口	7,875,080,012口	7,774,075,032口	7,658,909,265口	6,497,510,436口	6,350,420,251口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,694円	6,754円	6,872円	6,599円	7,100円	6,782円

- (注1) 当ファンドの第78期首元本額は8,058,993,719円、第78期～第83期中追加設定元本額は59,452,701円、第78期～第83期中一部解約元本額は1,768,026,169円です。
- (注2) 1口当たり純資産額は、第78期末0.6694円、第79期末0.6754円、第80期末0.6872円、第81期末0.6599円、第82期末0.7100円、第83期末0.6782円です。
- (注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は第78期末2,619,120,243円、第79期末2,556,149,503円、第80期末2,431,526,547円、第81期末2,604,469,733円、第82期末1,884,251,624円、第83期末2,043,819,854円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンドの監査は終了していません。

■ 損益の状況

第78期（自2014年6月24日 至2014年7月22日） 第81期（自2014年9月23日 至2014年10月22日）
 第79期（自2014年7月23日 至2014年8月22日） 第82期（自2014年10月23日 至2014年11月25日）
 第80期（自2014年8月23日 至2014年9月22日） 第83期（自2014年11月26日 至2014年12月22日）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,115	2,180	2,410	1,723	4,308	1,518
受 取 利 息	2,115	2,180	2,410	1,723	4,308	1,518
(B) 有価証券売買損益	△ 13,526,166	71,109,886	115,594,556	△ 185,751,837	345,774,896	△ 183,285,255
売 買 益	5,400,586	72,957,463	117,012,172	1,922,802	390,282,476	2,439,236
売 買 損	△ 18,926,752	△ 1,847,577	△ 1,417,616	△ 187,674,639	△ 44,507,580	△ 185,724,491
(C) 信託報酬等	△ 4,172,735	△ 4,392,025	△ 4,422,310	△ 4,163,753	△ 4,632,217	△ 3,197,430
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 17,696,786	66,720,041	111,174,656	△ 189,913,867	341,146,987	△ 186,481,167
(E) 前期繰越損益金	△1,905,605,801	△1,928,623,752	△1,855,063,412	△1,735,383,430	△1,647,249,894	△1,290,922,348
(F) 追加信託差損益金	△ 676,009,847	△ 674,558,092	△ 668,202,604	△ 660,025,163	△ 561,904,941	△ 550,540,289
(配当等相当額)	(4,309,149)	(4,521,413)	(4,650,803)	(4,730,624)	(4,160,856)	(4,201,985)
(売買損益相当額)	(△ 680,318,996)	(△ 679,079,505)	(△ 672,853,407)	(△ 664,755,787)	(△ 566,065,797)	(△ 554,742,274)
(G) 計 (D + E + F)	△2,599,312,434	△2,536,461,803	△2,412,091,360	△2,585,322,460	△1,868,007,848	△2,027,943,804
(H) 収益分配金	△ 19,807,809	△ 19,687,700	△ 19,435,187	△ 19,147,273	△ 16,243,776	△ 15,876,050
次期繰越損益金(G+H)	△2,619,120,243	△2,556,149,503	△2,431,526,547	△2,604,469,733	△1,884,251,624	△2,043,819,854
追加信託差損益金	△ 676,009,847	△ 674,558,092	△ 668,202,604	△ 660,025,163	△ 561,904,941	△ 550,540,289
(配当等相当額)	(4,353,993)	(4,533,430)	(4,661,612)	(4,737,130)	(4,170,154)	(4,205,121)
(売買損益相当額)	(△ 680,363,840)	(△ 679,091,522)	(△ 672,864,216)	(△ 664,762,293)	(△ 566,075,095)	(△ 554,745,410)
分配準備積立金	142,047,028	142,859,172	143,086,673	138,714,762	124,613,808	119,036,435
繰 越 損 益 金	△2,085,157,424	△2,024,450,583	△1,906,410,616	△2,083,159,332	△1,446,960,491	△1,612,316,000

(注1) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 新興国高金利通貨オープン マザーファンドの当ファンド分の運用指図に関する権限の一部を委託するために要する費用（2014年6月24日から2014年12月22日まで）は、3,789,308円です。

(注3) 分配金の計算過程

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
(a) 配当等収益(費用控除後)	40,623,271円	21,502,360円	21,586,833円	16,915,748円	22,974,078円	13,096,285円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,353,993	4,533,430	4,661,612	4,737,130	4,170,154	4,205,121
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	121,231,566	141,044,512	140,935,027	140,946,287	117,883,506	121,816,200
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	166,208,830	167,080,302	167,183,472	162,599,165	145,027,738	139,117,606
(f) 分配金額	19,807,809	19,687,700	19,435,187	19,147,273	16,243,776	15,876,050
(g) 分配金額(1万口当たり)	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

決 算 期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1万口当たり分配金(税引前)	25円	25円	25円	25円	25円	25円
分配金落ち後基準価額	6,694円	6,754円	6,872円	6,599円	7,100円	6,782円

分配原資の内訳

(1万口当たり・税込み前)

	第78期 2014年6月24日～ 2014年7月22日	第79期 2014年7月23日～ 2014年8月22日	第80期 2014年8月23日～ 2014年9月22日	第81期 2014年9月23日～ 2014年10月22日	第82期 2014年10月23日～ 2014年11月25日	第83期 2014年11月26日～ 2014年12月22日
当期分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円
（対基準価額比率）	0.372%	0.369%	0.362%	0.377%	0.351%	0.367%
当期の収益	25円	25円	25円	22円	25円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	3円	－円	5円
翌期繰越分配対象額	184円	187円	190円	187円	198円	194円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補てん後の有価証券売買等損益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<注記>

(注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未取利息等を含むため、「運用報告書（全体版） 組入資産の明細」の比率とは異なります。

(注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間（年）、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。

(注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

(注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。

(注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

■お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に伴い、2014年12月1日以降に作成期日（作成基準日となるファンドの決算日）を迎える運用報告書については、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項を記載した「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本報告書）に二段階化されることになりました。

「運用報告書（全体版）」は弊社のホームページでご覧いただけますが、ご請求いただいた場合には交付いたします。詳しくは、販売会社までお問い合わせください。

■約款変更について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型）

- 「運用報告書（全体版）」について電磁的方法により提供するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド、新興国高金利通貨オープン マザーファンド

- 投資信託の併合及び約款変更並びに投資信託契約の解約に関する書面決議に係る受益者数要件を廃止するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 受益者の利益に及ぼす影響が軽微な投資信託の併合に関する書面決議を不要とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- 反対受益者の受益権買取請求の規定を適用除外とするための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。
- デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するための、所要の約款変更を2014年12月1日に行いました。

先進国高金利通貨オープン マザーファンド

運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2014年7月22日） 第81期（決算日 2014年10月22日）
第79期（決算日 2014年8月22日） 第82期（決算日 2014年11月25日）
第80期（決算日 2014年9月22日） 第83期（決算日 2014年12月22日）

（計算期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	先進国のソブリン債券および準ソブリン債券
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

■ 最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			期 騰 落	中 率			
第10作成期	54期 (2012年7月23日)	円 7,769	% △1.9	% 97.6	% —	百万円 3,348	
	55期 (2012年8月22日)	8,059	3.7	96.0	—	3,356	
	56期 (2012年9月24日)	8,063	0.0	96.8	—	3,256	
	57期 (2012年10月22日)	8,167	1.3	97.5	—	3,204	
	58期 (2012年11月22日)	8,455	3.5	97.5	—	3,228	
	59期 (2012年12月25日)	8,774	3.8	95.8	—	3,229	
第11作成期	60期 (2013年1月22日)	9,288	5.9	96.0	—	3,366	
	61期 (2013年2月22日)	9,523	2.5	95.4	—	3,392	
	62期 (2013年3月22日)	9,653	1.4	97.3	—	3,345	
	63期 (2013年4月22日)	10,122	4.9	96.5	—	3,462	
	64期 (2013年5月22日)	10,258	1.3	98.4	—	3,457	
	65期 (2013年6月24日)	9,471	△7.7	97.4	—	3,084	
第12作成期	66期 (2013年7月22日)	9,792	3.4	97.9	—	3,165	
	67期 (2013年8月22日)	9,432	△3.7	97.3	—	2,966	
	68期 (2013年9月24日)	9,907	5.0	96.3	—	3,068	
	69期 (2013年10月22日)	9,978	0.7	97.5	—	3,045	
	70期 (2013年11月22日)	10,031	0.5	96.4	—	3,006	
	71期 (2013年12月24日)	10,308	2.8	97.4	—	2,939	
第13作成期	72期 (2014年1月22日)	10,293	△0.1	96.9	—	2,880	
	73期 (2014年2月24日)	10,199	△0.9	96.9	—	2,771	
	74期 (2014年3月24日)	10,275	0.7	96.3	—	2,750	
	75期 (2014年4月22日)	10,460	1.8	96.7	—	2,779	
	76期 (2014年5月22日)	10,343	△1.1	97.0	—	2,727	
	77期 (2014年6月23日)	10,464	1.2	98.1	—	2,703	
第14作成期	78期 (2014年7月22日)	10,391	△0.7	98.5	—	2,633	
	79期 (2014年8月22日)	10,516	1.2	97.5	—	2,648	
	80期 (2014年9月22日)	10,780	2.5	97.7	—	2,656	
	81期 (2014年10月22日)	10,391	△3.6	78.4	—	2,519	
	82期 (2014年11月25日)	11,247	8.2	96.4	—	2,291	
	83期 (2014年12月22日)	10,999	△2.2	96.1	—	2,127	

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当作成期の基準価額等の推移

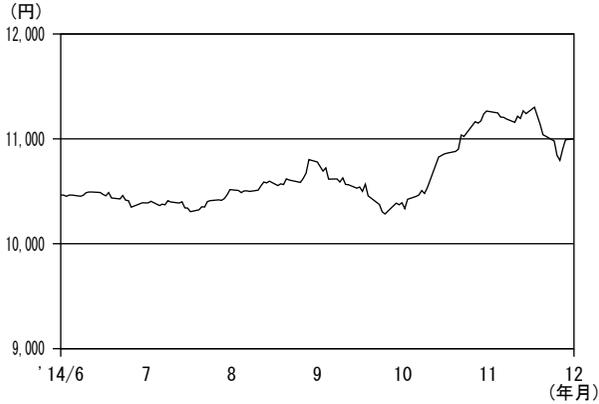
決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	比 率		
第78期	(期 首) 2014年6月23日	円	10,464	% —	% 98.1	% —
	6月末		10,453	△0.1	97.8	—
	(期 末) 2014年7月22日		10,391	△0.7	98.5	—
第79期	(期 首) 2014年7月22日		10,391	—	98.5	—
	7月末		10,411	0.2	97.1	—
	(期 末) 2014年8月22日		10,516	1.2	97.5	—
第80期	(期 首) 2014年8月22日		10,516	—	97.5	—
	8月末		10,499	△0.2	96.9	—
	(期 末) 2014年9月22日		10,780	2.5	97.7	—
第81期	(期 首) 2014年9月22日		10,780	—	97.7	—
	9月末		10,588	△1.8	97.1	—
	(期 末) 2014年10月22日		10,391	△3.6	78.4	—
第82期	(期 首) 2014年10月22日		10,391	—	78.4	—
	10月末		10,534	1.4	97.2	—
	(期 末) 2014年11月25日		11,247	8.2	96.4	—
第83期	(期 首) 2014年11月25日		11,247	—	96.4	—
	11月末		11,190	△0.5	96.1	—
	(期 末) 2014年12月22日		10,999	△2.2	96.1	—

(注1) 騰落率は各期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額の推移について (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率は、プラス5.1%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

ニュージーランド・ドルなどの投資国通貨が円に対して上昇（円安）したことや、オーストラリアやノルウェーなどで金利が低下し、債券価格が上昇したことなどが基準価額の上昇に寄与しました。また、投資国債券のインカムゲインも基準価額の上昇に寄与しました。

投資環境について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）➤ **先進国債券市場の動向：**

作成対象期間の先進国債券市場では、投資対象国の金利はおおむね低下基調となりました。

- 先進国債券市場は、米連邦準備理事会（FRB）による量的金融緩和の終了が決定され、米国を中心に景気は比較的底堅く推移しているものの、主要な先進国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続していることや、資源価格の下落などを背景にインフレ期待が低下していることなどから、多くの先進国で金利は低下基調となっています。ノルウェーでは、原油価格の下落を背景に中央銀行が利下げに踏み切ったことなどから金利は低下しました。

➤ **先進国為替市場の動向：**

作成対象期間の先進国為替市場では、多くの先進国通貨が円に対しておおむね堅調となりました。

- 多くの先進国通貨は、市場参加者のリスク許容度の改善が進んだことや日銀による追加の金融緩和策が行われたことなどから、円に対しておおむね堅調に推移しました。一方、ノルウェー・クローネは、原油価格の急落などを受けて、円に対して軟調に推移しました。

ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

- 国別配分については、第78期首は、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、ユーロ（イタリア）の現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成としました。第83期末は、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、カナダ、イギリスの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオとしました。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円で為替ヘッジは行いませんでした。

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	20.0%	0.8	3.6%	A A A
オーストラリア・ドル	19.8%	0.3	2.5%	A A A
ノルウェー・クローネ	18.5%	0.9	1.3%	A A A
カナダ・ドル	20.5%	2.2	1.1%	A A A
ユーロ（イタリア）	19.9%	2.9	1.0%	B B B
その他	1.2%	—	—	—
合計	100.0%	1.4	1.9%	A A +

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ニュージーランド・ドル	19.4%	0.3	3.6%	A A A
オーストラリア・ドル	19.1%	2.2	2.3%	A A A
ノルウェー・クローネ	19.8%	0.4	1.1%	A A A
カナダ・ドル	19.6%	1.7	1.0%	A A A
イギリス・ポンド	19.7%	1.7	0.5%	A A A
その他	2.4%	—	—	—
合計	100.0%	1.2	1.6%	A A A

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未収利息等を含むため、「運用報告書(全体版) 組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所：Bloomberg)
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

今後の運用方針

- 国別資産配分
原則として、先進国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します(選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。)
- 残存期間
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円で為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口当たりの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2014/6/24～2014/12/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	1円	0.012%	(a) その他費用 = $\frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
合 計	1	0.012	

※マザーファンドの期間中の平均基準価額は10,612円です。

(注1) 期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

公社債

決 算 期			第 78 期 ～ 第 83 期	
			買 付 額	売 付 額
外	国			
カ	ナ	ダ	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル
	国 債 証 券		—	1,753
ユ	—	ロ	千ユーロ	千ユーロ
	イ タ リ ア			
	国 債 証 券		—	3,890
イ	ギ	リ ス	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド
	国 債 証 券		2,974	742
ノ	ル	ウ エ	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ
	国 債 証 券		—	4,174
オ	—	ス ト ラ リ ア	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル
	国 債 証 券		5,175	1,275 (5,300)
ニ	ュ	— ジ — ラ ン ド	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル
	国 債 証 券		—	1,514

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれていません。）

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■ 当作成期の主要な売買銘柄 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

公社債

第 78 期			第 83 期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘	柄		銘	柄	
		千円			千円
UK TREASURY 4% 16/9/7(イギリス)		529,286	ITL GOVT. BOND 4.75% 17/6/1(ユーロ・イタリア)		544,401
AUD GOVT. BOND 6% 17/2/15(オーストラリア)		499,253	CANADIAN GOVT 2.75% 16/9/1(カナダ)		178,713
—		—	NEW ZEALAND GOVT 6% 15/4/15(ニュージーランド)		139,748
—		—	UK TREASURY 4% 16/9/7(イギリス)		136,442
—		—	AUD GOVT. BOND 6% 17/2/15(オーストラリア)		108,603
—		—	NORWEGIAN GOVT. 5% 15/5/15(ノルウェー)		72,435
—		—	AUD GOVT. BOND 4.5% 14/10/21(オーストラリア)		19,408

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人^{*}との取引状況等 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

決 算 期		第 78 期 ~ 第 83 期					
区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B		$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	
公 社 債	百万円 1,028	百万円	—	% —	百万円 1,199	百万円	% —
為 替 直 物 取 引	513	—	—	—	1,241	596	48.0

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 78 期 ~ 第 83 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

^{*}利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行株式会社です。

■ 組入資産の明細

(1) 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	第 14 作 成 期 末		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
カ ナ ダ	千カナダ・ドル 3,900	千カナダ・ドル 4,014	千円 413,461	% 19.4	% —	% —	% —	% 19.4
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 2,100	千イギリス・ポンド 2,225	415,599	19.5	—	—	—	19.5
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェー・クローネ 24,900	千ノルウェー・クローネ 25,279	408,520	19.2	—	—	—	19.2
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 3,800	千オーストラリア・ドル 4,089	397,832	18.7	—	—	18.7	—
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 4,400	千ニュージーランド・ドル 4,432	408,778	19.2	—	—	—	19.2
合 計	—	—	2,044,192	96.1	—	—	18.7	77.4

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) 一印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

作成期 区分	第 14 作 成 期 末		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
	種 類	銘 柄			外貨建金額	邦貨換算金額	
カナダ	国債証券	CANADIAN GOVT	2.75	千カナダ・ドル 3,900	千カナダ・ドル 4,014	千円 413,461	2016/9/1
イギリス	国債証券	UK TREASURY	4.0	千イギリス・ポンド 2,100	千イギリス・ポンド 2,225	415,599	2016/9/7
ノルウェー	国債証券	NORWEGIAN GOVT.	5.0	千ノルウェー・クローネ 24,900	千ノルウェー・クローネ 25,279	408,520	2015/5/15
オーストラリア	国債証券	AUD GOVT. BOND	6.0	千オーストラリア・ドル 3,800	千オーストラリア・ドル 4,089	397,832	2017/2/15
ニュージーランド	国債証券	NEW ZEALAND GOVT	6.0	千ニュージーランド・ドル 4,400	千ニュージーランド・ドル 4,432	408,778	2015/4/15
合計			-	-	-	2,044,192	

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

■ 投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,044,192	% 96.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	83,194	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,127,386	100.0

(注1) 当作成期末における外貨建純資産（2,077,286千円）の投資信託財産総額（2,127,386千円）に対する比率は97.6%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.50円、1カナダ・ドル=102.99円、1イギリス・ポンド=186.72円、1ノルウェー・クローネ=16.16円、1オーストラリア・ドル=97.28円、1ニュージーランド・ドル=92.22円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月22日) (2014年8月22日) (2014年9月22日) (2014年10月22日) (2014年11月25日) (2014年12月22日)現在

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	2,639,390,259	2,648,254,836	2,669,183,748	2,519,789,336	2,291,261,194	2,127,386,332
コール・ローン等	17,890,214	29,997,947	19,404,455	529,445,581	54,733,635	5,228,608
公社債(評価額)	2,594,197,113	2,581,315,218	2,595,507,624	1,975,258,821	2,208,963,595	2,044,192,858
未 収 入 金	—	—	20,518,250	—	—	44,900,553
未 収 利 息	26,804,195	36,454,430	33,698,360	15,033,476	22,738,515	28,448,340
前 払 費 用	498,737	487,241	55,059	51,458	4,825,449	4,615,973
(B) 負 債	6,096,939	27,125	12,230,254	30,780	434	—
未 払 解 約 金	6,096,939	27,125	12,230,254	30,780	434	—
(C) 純資産総額(A-B)	2,633,293,320	2,648,227,711	2,656,953,494	2,519,758,556	2,291,260,760	2,127,386,332
元 本	2,534,281,064	2,518,256,231	2,464,604,743	2,424,929,005	2,037,220,363	1,934,096,243
次期繰越損益金	99,012,256	129,971,480	192,348,751	94,829,551	254,040,397	193,290,089
(D) 受益権総口数	2,534,281,064口	2,518,256,231口	2,464,604,743口	2,424,929,005口	2,037,220,363口	1,934,096,243口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,391円	10,516円	10,780円	10,391円	11,247円	10,999円

(注1) 当マザーファンドの第78期首元本額は2,583,897,191円、第78期～第83期中追加設定元本額は226,678,078円、第78期～第83期中一部解約元本額は876,479,026円です。

(注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、グローバル高金利通貨オープン(毎月決算型)1,912,420,613円、グローバル高金利通貨オープン(1年決算型)21,675,630円、合計1,934,096,243円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、第78期末1.0391円、第79期末1.0516円、第80期末1.0780円、第81期末1.0391円、第82期末1.1247円、第83期末1.0999円です。

■損益の状況

第78期(自2014年6月24日 至2014年7月22日) 第81期(自2014年9月23日 至2014年10月22日)
 第79期(自2014年7月23日 至2014年8月22日) 第82期(自2014年10月23日 至2014年11月25日)
 第80期(自2014年8月23日 至2014年9月22日) 第83期(自2014年11月26日 至2014年12月22日)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配 当 等 収 益	9,173,756	9,807,811	9,707,969	8,732,072	10,751,134	7,217,997
受 取 利 息	9,173,756	9,807,811	9,707,969	8,732,072	10,751,134	7,217,997
(B) 有価証券売買損益	△ 27,771,110	21,747,758	56,056,214	△ 105,256,264	192,570,363	△ 57,781,817
売 買 益	2,219,688	31,456,020	61,667,172	1,953,745	198,914,625	4,544,285
売 買 損	△ 29,990,798	△ 9,708,262	△ 5,610,958	△ 107,210,009	△ 6,344,262	△ 62,326,102
(C) 信 託 報 酬 等	△ 40,992	△ 40,858	△ 50,585	△ 46,658	△ 66,075	△ 56,667
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 18,638,346	31,514,711	65,713,598	△ 96,570,850	203,255,422	△ 50,620,487
(E) 前期繰越損益金	119,814,632	99,012,256	129,971,480	192,348,751	94,829,551	254,040,397
(F) 追加信託差損益金	713,504	1,745,569	988,636	2,855,055	2,760,862	5,616,073
(G) 解約差損益金	△ 2,877,534	△ 2,301,056	△ 4,324,963	△ 3,803,405	△ 46,805,438	△ 15,745,894
(H) 計(D+E+F+G)	99,012,256	129,971,480	192,348,751	94,829,551	254,040,397	193,290,089
次期繰越損益金(H)	99,012,256	129,971,480	192,348,751	94,829,551	254,040,397	193,290,089

(注) 損益の状況の中で

- ・(B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C) 信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・(F) 追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・(G) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2014年7月22日） 第81期（決算日 2014年10月22日）
第79期（決算日 2014年8月22日） 第82期（決算日 2014年11月25日）
第80期（決算日 2014年9月22日） 第83期（決算日 2014年12月22日）

（計算期間：2014年6月24日～2014年12月22日）

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。・同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

国際投信投資顧問

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
URL <http://www.kokusai-am.co.jp>

最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
			期 騰 落	中 率			
第10作成期	54期 (2012年7月23日)	円 8,637	% △1.2	% 97.7	% —	百万円 3,406	
	55期 (2012年8月22日)	9,002	4.2	96.9	—	3,436	
	56期 (2012年9月24日)	8,978	△0.3	96.4	—	3,333	
	57期 (2012年10月22日)	9,113	1.5	95.7	—	3,278	
	58期 (2012年11月22日)	9,328	2.4	95.9	—	3,266	
	59期 (2012年12月25日)	9,776	4.8	96.0	—	3,286	
第11作成期	60期 (2013年1月22日)	10,449	6.9	96.8	—	3,437	
	61期 (2013年2月22日)	10,946	4.8	97.3	—	3,459	
	62期 (2013年3月22日)	10,858	△0.8	96.5	—	3,392	
	63期 (2013年4月22日)	11,618	7.0	96.8	—	3,527	
	64期 (2013年5月22日)	11,885	2.3	96.3	—	3,481	
	65期 (2013年6月24日)	10,783	△9.3	97.0	—	3,162	
第12作成期	66期 (2013年7月22日)	11,195	3.8	97.0	—	3,194	
	67期 (2013年8月22日)	10,588	△5.4	96.5	—	3,003	
	68期 (2013年9月24日)	11,249	6.2	96.6	—	3,120	
	69期 (2013年10月22日)	11,250	0.0	96.8	—	3,070	
	70期 (2013年11月22日)	11,363	1.0	97.4	—	3,030	
	71期 (2013年12月24日)	11,612	2.2	95.9	—	2,973	
第13作成期	72期 (2014年1月22日)	11,327	△2.5	95.2	—	2,893	
	73期 (2014年2月24日)	11,080	△2.2	94.9	—	2,823	
	74期 (2014年3月24日)	11,003	△0.7	94.5	—	2,772	
	75期 (2014年4月22日)	11,516	4.7	97.6	—	2,800	
	76期 (2014年5月22日)	11,675	1.4	97.0	—	2,768	
	77期 (2014年6月23日)	11,704	0.2	96.6	—	2,725	
第14作成期	78期 (2014年7月22日)	11,725	0.2	96.0	—	2,668	
	79期 (2014年8月22日)	11,906	1.5	97.0	—	2,669	
	80期 (2014年9月22日)	12,140	2.0	96.2	—	2,685	
	81期 (2014年10月22日)	11,714	△3.5	96.2	—	2,534	
	82期 (2014年11月25日)	12,659	8.1	93.0	—	2,327	
	83期 (2014年12月22日)	11,905	△6.0	89.7	—	2,186	

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■ 当作成期の基準価額等の推移

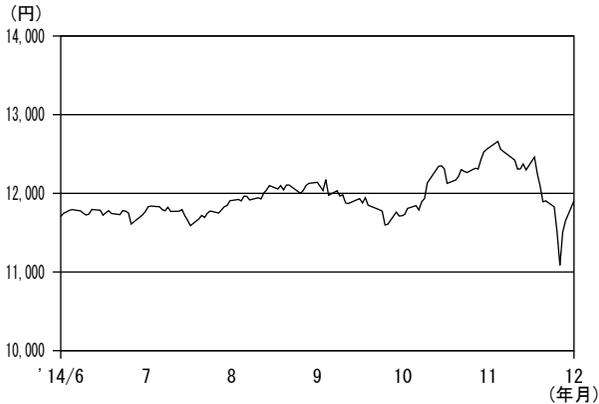
決算期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率		
第78期	(期 首) 2014年6月23日	円	%	%	%
	6月末	11,704	—	96.6	—
	(期 末) 2014年7月22日	11,776	0.6	97.2	—
第79期	(期 首) 2014年7月22日	11,725	—	96.0	—
	7月末	11,823	0.8	96.3	—
	(期 末) 2014年8月22日	11,906	1.5	97.0	—
第80期	(期 首) 2014年8月22日	11,906	—	97.0	—
	8月末	11,916	0.1	97.0	—
	(期 末) 2014年9月22日	12,140	2.0	96.2	—
第81期	(期 首) 2014年9月22日	12,140	—	96.2	—
	9月末	11,965	△1.4	96.1	—
	(期 末) 2014年10月22日	11,714	△3.5	96.2	—
第82期	(期 首) 2014年10月22日	11,714	—	96.2	—
	10月末	12,132	3.6	96.5	—
	(期 末) 2014年11月25日	12,659	8.1	93.0	—
第83期	(期 首) 2014年11月25日	12,659	—	93.0	—
	11月末	12,503	△1.2	93.0	—
	(期 末) 2014年12月22日	11,905	△6.0	89.7	—

(注1) 騰落率は各期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■ 運用経過

■ 基準価額の推移について (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)



当マザーファンドの作成対象期間中の騰落率は、プラス1.7%となりました。

■ 基準価額の主な変動要因 (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

- トルコ・リラや南アフリカ・ランド、ナイジェリア・ナイラの投資対象通貨が円に対して上昇（円安）したことやトルコで金利が低下し債券価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇に寄与しました。また、投資国債券のインカムゲインも基準価額の上昇に寄与しました。
- ロシア・ルーブルやブラジル・レアルの投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことやロシアやナイジェリアで金利が上昇し債券価格が下落したことなどが、基準価額の下落に作用しました。

投資環境について（作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日）➤ **新興国債券市場の動向：**

作成対象期間の新興国債券市場では、トルコを除き、投資対象国の金利は上昇しました。

- 新興国債券市場では、ロシアは、依然として不透明なウクライナ情勢や欧米による制裁、原油安の進行などを受けて売り圧力が強まったことや同国の中央銀行による大幅な利上げなどを受けて金利が上昇しました。ナイジェリアは、産油国であることから原油安による懸念や同国の中央銀行による利上げなどを背景に金利が上昇しました。ブラジルは、大統領選挙の動向に左右されて値動きの荒い展開となり、作成対象期間を通してみると金利は上昇しました。南アフリカは、金利が低下する局面があったものの、作成対象期間を通してみると小幅に金利は上昇しました。一方、トルコは、原油の輸入国であることから、原油安によるインフレ率の改善期待などを背景に金利が低下しました。

➤ **新興国為替市場の動向：**

作成対象期間の新興国為替市場では、投資対象通貨によってまちまちとなりました。

- ロシア・ルーブルは、ウクライナ情勢や原油安、欧米による制裁などを受けて円に対して大幅に下落しました。ブラジル・レアルは、大統領選挙でルセフ大統領が再選したことなどが嫌気され、対円で下落しました。一方、ナイジェリア・ナイラや南アフリカ・ランドは、米ドルが対円で堅調に推移したことなどを背景に上昇しました。トルコ・リラは、原油安の進行を背景とした経常収支の改善期待などから対円で上昇しました。

ポートフォリオについて (作成対象期間：2014年6月24日～2014年12月22日)

- 国別配分については、第78期首は、ナイジェリア、ブラジル、トルコ、ロシア、南アフリカの現地通貨建国債をおおむね均等に組み入れたポートフォリオ構成としました。2014年9月、12月に実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、金利の相対的な魅力度に大きな変化がなく、投資国通貨に変更を加えませんでした。残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債へ投資を行いました。外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ナイジェリア・ナイラ	20.5%	0.8	11.4%	BB-
ブラジル・レアル	19.6%	0.8	10.9%	BBB+
トルコ・リラ	18.8%	0.4	8.6%	BBB
ロシア・ルーブル	19.6%	1.3	8.1%	BBB+
南アフリカ・ランド	19.8%	0.9	6.4%	BBB+
その他	1.7%	—	—	—
合計	100.0%	0.8	8.9%	BBB-

通貨	債券 組入比率	平均残存 期間(年)	平均最終 利回り	平均格付
ロシア・ルーブル	16.3%	0.9	15.8%	BBB
ナイジェリア・ナイラ	20.4%	0.3	13.2%	BB-
ブラジル・レアル	21.7%	0.3	12.2%	BBB+
トルコ・リラ	19.1%	0.9	8.6%	BBB
南アフリカ・ランド	13.6%	1.9	6.8%	BBB+
その他	8.9%	—	—	—
合計	100.0%	0.7	10.5%	BBB-

- (注1) マザーファンドの通貨別組入比率は未収利息等を含むため、「運用報告書(全体版) 組入資産の明細」の比率とは異なります。
- (注2) マザーファンドの通貨別債券組入比率、平均残存期間(年)、平均最終利回り、平均格付は、現地通貨建債券の時価残高合計で加重平均し算出しています。
- (注3) 平均格付は、Moody's社とS&P社の自国通貨建長期債務格付のうち、上位格付を基に国際投信投資顧問が計算し、S&P社の表示方法で表記しています。(出所：Bloomberg)
- (注4) 合計値が表記の各要素と異なることがありますが、四捨五入による影響です。
- (注5) 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、ファンドおよびマザーファンドに係る信用格付ではありません。

今後の運用方針

- 国別資産配分
原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します(選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とまらないこともあります。)
- 残存期間
残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- 為替ヘッジ等
外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2014/6/24～2014/12/22)		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) その他費用	12円	0.103%	(a) その他費用 = $\frac{\text{期間中のその他費用}}{\text{期間中の平均受益権口数}}$ ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用等
(保管費用)	(12)	(0.103)	
合 計	12	0.103	

※マザーファンドの期間中の平均基準価額は12,019円です。

(注1) 期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期間中の平均基準価額（各月末の単純平均）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 当作成期の売買及び取引の状況（2014年6月24日から2014年12月22日まで）

公社債

決 算 期				第 78 期 ～ 第 83 期	
				買 付 額	売 付 額
外	ブ	ラ	ジ	千ブラジル・リアル	千ブラジル・リアル
			ル		
	ト	ル	コ	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ
			証券		
	口	シ	ア	千ロシア・ルーブル	千ロシア・ルーブル
			証券		
	南	ア	フリ	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド
			カ		
	ナ	イ	ジェ	千ナイジェリア・ナイラ	千ナイジェリア・ナイラ
			リア		

(注1) 金額は受渡代金です。（経過利子は含まれていません。）

(注2) 金額の単位未満は切り捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

■ 当作成期の主要な売買銘柄 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

公社債

第 78 期			第 83 期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘	柄		銘	柄	
TURKEY GOVT BOND 10.7% 16/2/24(トルコ)		千円 299,406	NIGERIA T-BOND 4% 15/4/23(ナイジェリア)		千円 159,391
SOUTH AFRICA GOVT 8.25% 17/9/15(南アフリカ)		106,751	SOUTH AFRICA GOVT 8.75% 14/12/21(南アフリカ)		94,692
TURKEY GOVT BOND 10% 15/6/17(トルコ)		77,387	TURKEY GOVT BOND 10% 15/6/17(トルコ)		66,791
RUSSIA-OFZ 6.88% 15/7/15(ロシア)		35,964	RUSSIA-OFZ 6.88% 15/7/15(ロシア)		65,228
RUSSIA-OFZ 6.9% 16/8/3(ロシア)		18,532	BRAZIL NTN-F 10% 15/1/1(ブラジル)		64,376
BRAZIL NTN-F 10% 17/1/1(ブラジル)		11,168	TURKEY GOVT BOND 10.7% 16/2/24(トルコ)		61,359
—		—	SOUTH AFRICA GOVT 13.5% 15/9/15(南アフリカ)		47,598
—		—	TURKEY GOVT BOND 7.5% 14/9/24(トルコ)		5,986

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てです。

■ 当作成期の利害関係人^{*}との取引状況等 (2014年6月24日から2014年12月22日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

決 算 期	第 78 期 ~ 第 83 期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 549	百万円 —	% —	百万円 565	百万円 —	% —
為 替 直 物 取 引	812	—	—	1,408	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 78 期 ~ 第 83 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

^{*}利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における利害関係人との取引はありません。

■ 組入資産の明細

(1) 外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	第 14 作 成 期 末		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
ブラジル	千ブラジル・レアル 10,275	千ブラジル・レアル 10,564	千円 474,358	% 21.7	% —	% —	% 2.8	% 18.9
トルコ	千トルコ・リラ 7,795	千トルコ・リラ 7,931	409,359	18.7	—	—	—	18.7
ロシア	千ロシア・ルーブル 180,485	千ロシア・ルーブル 168,583	345,595	15.8	—	—	—	15.8
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 26,243	千南アフリカ・ランド 27,948	288,705	13.2	—	—	5.1	8.1
ナイジェリア	千ナイジェリア・ナイラ 686,925	千ナイジェリア・ナイラ 666,385	442,280	20.2	20.2	—	—	20.2
合 計	—	—	1,960,299	89.7	20.2	—	7.9	81.8

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注4) ー印は組み入れがありません。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(2) 外国（外貨建）公社債銘柄別

作成期 区分	第 14 作 成 期 末	種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
						千円		
ブラジル	国債証券	BRAZIL NTN-F	10.0	8,232	8,606	386,432	2015/1/1	
		BRAZIL NTN-F	10.0	1,356	1,351	60,695	2017/1/1	
		BRAZIL-LTN	—	687	606	27,230	2016/1/1	
小 計			—	—	—	474,358		
トルコ	国債証券	TURKEY GOVT BOND	10.0	2,820	2,834	146,283	2015/6/17	
		TURKEY GOVT BOND	10.7	4,975	5,097	263,076	2016/2/24	
小 計			—	—	—	409,359		
ロシア	国債証券	RUSSIA-OFZ	6.88	104,490	100,076	205,156	2015/7/15	
		RUSSIA-OFZ	7.35	37,795	34,857	71,458	2016/1/20	
		RUSSIA-OFZ	6.9	38,200	33,649	68,980	2016/8/3	
小 計			—	—	—	345,595		
南アフリカ	国債証券	SOUTH AFRICA GOVT	13.5	5,796	6,076	62,775	2015/9/15	
		SOUTH AFRICA GOVT	13.5	9,996	11,082	114,484	2016/9/15	
		SOUTH AFRICA GOVT	8.25	10,450	10,788	111,446	2017/9/15	
小 計			—	—	—	288,705		
ナイジェリア	国債証券	NIGERIA T-BOND	4.0	686,925	666,385	442,280	2015/4/23	
合 計			—	—	—	1,960,299		

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

■ 投資信託財産の構成

2014年12月22日現在

項 目	第 14 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,960,299	% 88.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	258,044	11.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,218,343	100.0

(注1) 当作成期末における外貨建純資産 (2,174,667千円) の投資信託財産総額 (2,218,343千円) に対する比率は98.0%です。

(注2) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、12月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=119.50円、1ブラジル・レアル=44.90円、1トルコ・リラ=51.61円、1ロシア・ルーブル=2.05円、1南アフリカ・ランド=10.33円、100ナイジェリア・ナイラ=66.37円です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てです。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年7月22日) (2014年8月22日) (2014年9月22日) (2014年10月22日) (2014年11月25日) (2014年12月22日)現在

項 目	第 7 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末	第 8 期 末
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	2,670,633,609	2,673,314,196	2,788,247,612	2,549,070,337	2,331,384,247	2,218,461,170
コール・ローン等	69,505,226	38,451,259	167,821,515	59,451,292	74,689,603	91,042,177
公社債(評価額)	2,563,001,161	2,589,856,728	2,581,964,244	2,437,606,536	2,165,376,378	1,960,299,372
未 収 入 金	—	85,248	208,471	12,500,075	54,495,879	130,276,029
未 収 利 息	36,171,218	44,825,692	38,253,382	34,591,068	31,884,947	32,582,875
前 払 費 用	1,956,004	95,269	—	4,921,366	4,937,440	4,260,717
(B) 負 債	1,687,575	3,600,852	103,177,910	14,176,020	3,640,014	32,423,924
未 払 金	—	85,383	96,153,946	82,036	65,159	117,959
未 払 解 約 金	1,687,575	3,515,469	7,023,964	14,093,984	3,574,855	32,305,965
(C) 純資産総額(A-B)	2,668,946,034	2,669,713,344	2,685,069,702	2,534,894,317	2,327,744,233	2,186,037,246
元 本	2,276,232,069	2,242,391,864	2,211,814,059	2,163,923,281	1,838,778,857	1,836,244,588
次期繰越損益金	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658
(D) 受益権総口数	2,276,232,069口	2,242,391,864口	2,211,814,059口	2,163,923,281口	1,838,778,857口	1,836,244,588口
1口当たり基準価額(C/D)	11,725円	11,906円	12,140円	11,714円	12,659円	11,905円

(注1) 当マザーファンドの第78期首元本額は2,328,986,431円、第78期～第83期中追加設定元本額は249,900,814円、第78期～第83期中一部解約元本額は742,642,657円です。

(注2) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、グローバル高金利通貨オープン(毎月決算型)1,804,250,911円、グローバル高金利通貨オープン(1年決算型)20,449,522円、新興国高金利通貨オープン(毎月決算型)11,544,155円、合計1,836,244,588円です。

(注3) 1口当たり純資産額は、第78期末1.1725円、第79期末1.1906円、第80期末1.2140円、第81期末1.1714円、第82期末1.2659円、第83期末1.1905円です。

■ 損益の状況

第78期(自2014年6月24日 至2014年7月22日) 第81期(自2014年9月23日 至2014年10月22日)
 第79期(自2014年7月23日 至2014年8月22日) 第82期(自2014年10月23日 至2014年11月25日)
 第80期(自2014年8月23日 至2014年9月22日) 第83期(自2014年11月26日 至2014年12月22日)

項 目	第 7 8 期	第 7 9 期	第 8 0 期	第 8 1 期	第 8 2 期	第 8 3 期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配 当 等 収 益	36,509,229	13,502,304	13,263,472	12,648,953	15,286,996	9,418,425
受 取 利 息	36,509,229	13,502,304	13,263,472	12,648,953	15,286,996	9,418,425
(B) 有価証券売買損益	△ 30,961,524	27,513,952	39,251,712	△105,741,213	178,388,081	△146,960,641
売 買 損	10,766,468	32,824,179	50,784,366	7,533,028	185,720,289	7,306,430
売 買 益	△ 41,727,992	△ 5,310,227	△ 11,532,654	△113,274,241	△ 7,332,208	△154,267,071
(C) 信 託 報 酬 等	△ 426,583	△ 462,205	△ 459,029	△ 443,610	△ 461,101	△ 493,073
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,121,122	40,554,051	52,056,155	△ 93,535,870	193,213,976	△138,035,289
(E) 前期繰越損益金	396,969,147	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376
(F) 追加信託差損益金	5,118,852	5,427,733	8,151,122	7,178,117	12,395,908	8,773,529
(G) 解約差損益金	△ 14,495,156	△ 11,374,269	△ 14,273,114	△ 15,926,854	△ 87,615,544	△ 9,910,958
(H) 計(D+E+F+G)	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658
次期繰越損益金(H)	392,713,965	427,321,480	473,255,643	370,971,036	488,965,376	349,792,658

(注) 損益の状況の中で

- ・ (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- ・ (C) 信託報酬等は外貨建資産の保管費用等のことです。
- ・ (F) 追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち追加元本との差額を処理する項目です。
- ・ (G) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。